

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
6	笠井 浩（20）	<p>1. かりがね堤の堤外への駐車場整備について 富士川かりがね橋は令和5年度中の開通を目指し、急ピッチで工事が進められている。 これに合わせて地元の岩松北地区では、地域の観光資源を有効に活用し、富士市に大勢の人が訪れるような政策に結びつけようという機運が高まっている。かりがね堤、実相寺、岩本山公園、龍巖淵等、岩松北地区には多くの観光資源がある。観光政策を進める上で、駐車場は初めに考えなければならぬ重要なインフラである。 富士川かりがね橋の工事と合わせて、かりがね堤の堤外に観光バスも停められる駐車場を整備すべきと考えるがいかがか。</p> <p>2. 富士川かりがね橋関連工事の影響を受ける地元農業者の作業路確保について 富士川かりがね橋関連工事の影響を受ける地元住民は、20年以上にわたって住環境の保持のための協議を行ってきた。 かりがね堤の堤外に農地を所有する農業者も例外ではないが、長い交渉期間を経る中で、農業機械の進化など、農業を取り巻く環境も大きく変化してきた。 現状に合わせて、かりがね堤の堤内外へ行き来する作業路の確保等、農業に関わる環境も改善すべきだと考えるがいかがか。</p> <p>3. 新型コロナウイルス感染拡大時の売上げ減少で苦しむ富士市の中小企業及び小規模企業（小規模事業者）への支援について 2020年初頭に日本で初めて確認された新型コロナウイルス感染症は拡大と縮小を繰り返し、現在、第7波を超え、第8波に差しかかっているとされている。 第7波はすさまじく、富士市でも8月5日に過去最高の841人を数え、累計感染者は3万人を超えた。 静岡県は全体が「BA. 5対策強化地域」となり、県は医療ひっ迫警報を発令して感染拡大防止を訴えた。 そんな中で人の動きが止まり、売上げが減少し、経営者の生活に支障を来している中小企業及び小規模企業（小規模事業者）が多いと感じる。 緊急事態措置やまん延防止等重点措置が出ている間は国からの休業補償などの支援があるが、第7波では国からの支援はなく、市が独自の支援を考えるべきだと感じる。 そこで、以下質問する。 (1) 市内には富士市ホテル旅館業組合、旅館料理飲食組合、飲食組合吉原支部等があるが、支援の要望はないか。 (2) (1)にある業界などに市から様子を尋ねるべきだと考えるがいかがか。 (3) 国や県に支援対策を求めるべきだと考えるがいかがか。 (4) 市が独自で支援策を立てるべきだと考えるがいかがか。</p>	市長 及び 担当部長